

# 上十三むつ下北

越前陽悦会長(左)から特別永年勤続や  
永年勤続表彰を受ける出席者



## 障害者の活動充実へ始動

むつ養護学校就労・生活支援ネット

むつ

青森県立むつ養護学校就労・生活支援ネットワーク(越前陽悦会長)は10月29日、むつ市のむつグリーンホテルで連絡協議会を開き、出席者約200人が、永年勤続者の表彰や体験型ワークショップなどを通じて、地域の障害者の自立、生活の充実を支えていく必要を確認した。

同ネットワークは、2002年に設立された卒業生生活支援連絡協議会を発展させた組織として、今年6月に誕生。同校卒業生に限らず、むつ下北地域で暮らす障害者らの就労・生活支援、余暇の充実を学校や関係事業所、関係機関でサポートするのが狙いだ。連絡協議会は同ネットワーク初の活動。越前会長が「障害者の社

会参加を支援する輪が広がるような活動をしていきたい」とあいさつ。下北地域事業所での特別永年勤続者(30年以上)4人、永年勤続者(20年以上)6人、障害者特別永年雇用企業(30年以上)1社、永年雇用企業(20年以上)3社を表彰した。引き続き、障害者の仕事や余暇の過ごし方などを体験し、理解を深めるワークショップや交流会なども行われた。

(澤田淳一)